【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-345747(P2004-345747A)
【公開日】平成16年12月9日(2004.12.9)
【年通号数】公開・登録公報2004-048
【出願番号】特願2003-141369(P2003-141369)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６６Ｂ　1/30
　Ｂ６６Ｂ　1/06
【ＦＩ】
　Ｂ６６Ｂ　1/30　Ｚ
　Ｂ６６Ｂ　1/06　Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成17年8月3日(2005.8.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　かごと、釣り合いおもりと、前記かご及び前記釣り合いおもりを吊る巻上機と、を備えるエレベータの駆動制御を行うエレベータの制御装置であって、
　エレベータの回生方向運転時において、
　エレベータが前回停止した時刻からエレベータが次に起動される時刻までの時間に基づいて算出される実際のトルク補償信号の値を用いてエレベータの駆動トルクを制御することを特徴とするエレベータの制御装置。
【請求項２】
　請求項１に記載のエレベータの制御装置であって、
　前記実際のトルク補償信号の値は、前記巻上機に特有の巻上機定数と、前記かごの重量と前記釣り合いおもりの重量との差であるアンバランス負荷と、エレベータが前回停止した時刻からエレベータが次に起動される時刻までの時間に基づいて決定される回生時係数と、の積に基づいて決定されることを特徴とするエレベータの制御装置。
【請求項３】
　かごと、釣り合いおもりと、前記かご及び前記釣り合いおもりを吊る巻上機と、を備えるエレベータであって、
　エレベータの回生方向運転時において、
　エレベータが前回停止した時刻からエレベータが次に起動される時刻までの時間に基づいて算出される実際のトルク補償信号の値を用いてエレベータの駆動トルクを制御することを特徴とするエレベータ。
【請求項４】
　請求項３に記載のエレベータであって、
　前記実際のトルク補償信号の値は、前記巻上機に特有の巻上機定数と、前記かごの重量と前記釣り合いおもりの重量との差であるアンバランス負荷と、エレベータが前回停止した時刻からエレベータが次に起動される時刻までの時間に基づいて決定される回生時係数と、の積に基づいて決定されることを特徴とするエレベータ。
【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
【従来の技術】
エレベータは、図５に示すように、人や荷物等が載せられるかご１０と釣り合いおもり１２とをメインロープ１４で繋ぎ、メインロープ１４が巻き掛けられた巻上機１６をモータ１８で回転駆動させることによって駆動させられる。モータ１８は、モータ１８へ電力を供給する電力変換器２０によって作動させられる。